小6 中学受験 算数 ふつう こたえ　名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

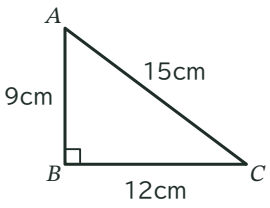
点の移動とグラフ

＿＿＿月＿＿＿日

1 辺の上を動く点 基本

次の問いに答えなさい。

□ (1) 図の直角三角形ABCの辺の上を、点Pは頂点Aを出発して、A、B、Cの順に毎秒4cmの速さで1周し、Aにもどると止まります。AB=9cm、BC=12cm、CA=15cmのとき、点Pが止まるのは、出発してから何秒後ですか。

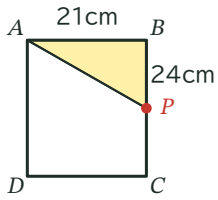


9 + 12 + 15 = 36　36 ÷ 4 = 9　答え 9秒後

2 動く点と面積・グラフ 標準

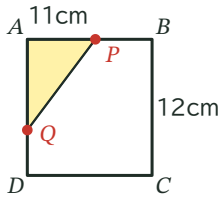
次の問いに答えなさい。

□ (1) 図の長方形ABCDの辺の上を、点Pは頂点Bを出発して、C、D、Aの順に毎秒3cmの速さで動き、Aで止まります。AB=21cm、BC=24cmです。三角形ABPの面積が126cm²になるのは、出発してから2回あります。2回目は、出発してから何秒後ですか。



126 × 2 ÷ 21 = 12　24 + 21 + 24 − 12 = 57　57 ÷ 3 = 19
答え 19秒後

□ (2) 図の長方形ABCDで、点Pは頂点Aから辺AB上をBに向かって毎秒3cm、点Qは頂点Dから辺DA上をAに向かって毎秒2cmの速さで、同時に出発します。AB=11cm、AD=12cmです。出発してから2秒後の、三角形APQの面積は何cm²ですか。



3 × 2 = 6　2 × 2 = 4　12 − 4 = 8　6 × 8 ÷ 2 = 24
答え 24cm²

できた ＿＿＿ / 3問

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら